

## ま え が き

保健管理センター報告書第18号をおとどけ致します。報告書は平成2年度におけるセンター業務報告、教育および広報活動、研修、研究・調査活動と、関連業績を内容としております。

大学生の定期健康診断が、ひろくわが国の学校健診において慣習的に行われてきた項目に限られている現状はいずれ解決されてゆくと思われませんが、少なくとも予防医学的見地からはすでに成人病健診の基本検査に含まれている血液生化学は実施されるべき時代に入っているといえましょう。異常者の見出される頻度は低いとしても異常の発見によって未然に阻止しうる疾患の前状態が必ず存在することの意義を軽視できないからであります。

本年度は、研究調査として過去3年間の定期健康診断の対象となった学生の血圧値が検討された結果、予想を超える境界域高血圧人口が示されたことは、これら学生における血圧の自然歴を追跡する必要性（血圧のtracking現象；血圧の高い人はより多く長年にわたり高血圧の群にとどまる）を警告しています。今後、境界域高血圧を示す学生の環境要因を含め調査が進められることを期待したいと思います。

健康教育および広報活動は、学生諸君の現実的な反応としてなかなかとらえ難い地道な分野ではありますが、メンタル・ヘルスの面でもより多くの方々が気軽にセンターを利用していただけるよう、この小冊子を通して関係各位にお願いする次第であります。

最後に、センターの設備更新・運営面で多大の御配慮をいただいた青野茂行学長はじめ、平井英二学生部長、事務局各位に厚くお礼申し上げます。

平成3年12月

金沢大学保健管理センター

所長 竹 田 亮 祐